

れたい旨の意見が述べられた。

(二) 所管事務調査

①救急車搭載のベッドについては、搬送される患者の負担軽減を考慮し、高い防振性能を備えたものを導入されたい。

②住宅用火災警報器の設置について、更なる啓発に努められたい。

③学校施設の耐震診断については、調査結果を公表されたい。

④図書館を核としたまちづくりを進めるため、新しい図書館建設への気運醸成に努められたい。

⑤投票所のバリアフリー化を検討されたい

各特別委員会 報告

各特別委員会は、次の項目について審査を行いました。

原子力発電所対策調査 特別委員会

委員長 池脇 重夫

十一月二十六日開催

(一) 川内原子力発電所一号機・二号機の運転状況について

川内原子力発電所の運転状況について

当局から、川内市原子力発電所の概要と運転状況、蒸気発生器取替・原子炉容器上部ふた取替工事行程等の説明を受け、その後、一号機の平成二十年八月七日の発電停止から定期検査を開始、十一月十四日から発電再開し、現在ほぼ一〇〇%出力の調整運転に入っていること、及び定期検査の詳細について報告・説明を受けた。

次に、二号機については、本年十一月二十五日に発電停止し、二十一年四月通常運転復旧予定で、原子炉容器上部ふた取替工事を含む定期検査を行なう旨、報告・説明を受けた。

その後、交換後の蒸気発生装置及び原子炉容器上部ふた等の具体的な処分方法について質疑があり、今後の処分時期等については、計画的に搬出する見込みであるとの確認をしている旨の答弁があった。

市民への不信感を招くことのないよう、公開を原則とし、さきに取替工事を実施した一号機の交換前の原子炉容器上部ふたの写真について、九州電力に公開を求められたい旨の要望が述べられた。

当局から、本年十月末現在の環境調査の進捗状況として、総合進捗率は九八・五%、地質調査については敷地内・敷地外地質調査が完了し、現在分析・評価中であり、

進捗率九九・一%であること、気象調査については終了し、進捗率一〇〇%であること、環境アセスメントについては、準備書の作製について平成二十年十二月に届出がなされる予定であるとの報告・説明を受け、その後、地元発注・雇用の状況の報告を受けた。

(二) 環境放射線調査及び温排水影響調査の概要について
当局から、環境放射線調査結果及び温排水影響調査の概要について、これまでの調査結果を含めた報告・説明を受けた。

十二月五日開催

(一) 川内原子力発電所の視察について
十一月二十六日に開催した委員会において、川内原子力発電所の原子炉容器上部ふた取替工事に関し、定期検査の状況を含めた現地視察を行いたい旨の意見が出され、十二月五日開催の委員会において現地視察を実施した。

現地視察は、まず、九州電力(株)による川内原子力発電所二号機第十八回定期検査における原子炉容器上部ふた取替の手順、燃料の取出手順及び蒸気発生器入口配管溶接部の計画保全工事等の説明を受け、その後、原子炉建屋、固体

廃棄物貯蔵庫をはじめとした管理区域内の状況調査及び環境調査の地質調査に係る試掘坑の視察を実施した。

なお、視察の現場においては、定期検査の説明に加え、原子力発電所内の管理体制の説明を受け、また、原子炉容器上部ふた取替前及び取替工事状況の写真等は公開できる旨の説明を受けた。

今回の現地視察によって、今後の審査に当たっての基礎的な情報を得ることができた。



川内原子力発電所視察